

施設名称	特別養護老人ホーム三ノ輪	指定管理者の名称	社会福祉法人台東区社会福祉事業団
-------------	--------------	-----------------	------------------

1. 指定管理者の概要

①業務内容	台東区社会福祉事業団は、台東区の児童及び高齢者福祉の充実を図るため、台東区が出資して昭和 6 1 年 1 0 月に設立した社会福祉法人である。
②類似施設の管理実績	特別養護老人ホーム浅草・特別養護老人ホーム谷中
③経営状況	(20 年度決算ベース) [社会福祉事業会計]歳入 2,454,705,943 円, 歳出 2,433,180,998 円, 収支差額 21,524,945 円 [公益事業特別会計]歳入 327,444,890 円, 歳出 380,680,744 円, 収支差額▲53,235,854 円

2. 施設の概要

①所在地	台東区三ノ輪 1-27-11
②設置目的	居宅において介護を受けることが困難な高齢者に対し、介護その他の日常生活上の世話、機能訓練、健康管理及び療養上の世話をを行い、高齢者の福祉の向上を図る。
③利用者	常時介護が必要で、自宅での介護が困難な要介護者
④開館日・時間	通年、24 時間
⑤規模	延べ床面積 9,617 m ² のうち 4,604 m ² 三ノ輪福祉センター内 鉄骨鉄筋コンクリート造地上 9 階地下 2 階のうち地上 8 階～地下 2 階部分 駐車場(共用)、売店、リハビリ室、浴室(機械浴、一般)、ボランティア室、居室、静養室など
⑥人員体制	34 名 (内訳)施設長(1), 事務員(常勤 1, 非常勤 1), 相談員(2), 介護職員(常勤 22, 非常勤 2), 看護職員(4), 栄養士(1)

3. 事業(サービス提供)の概要

①委託事業	入所者の健康管理、機能訓練、生活介助(食事、介護(排泄援助、入浴援助)、季節行事等)地域・ボランティア活動支援、年間防災訓練などの事業。併設事業として短期入所生活介護の運営。施設、付属設備及び物品の保全。施設内の清潔整頓、その他環境整備。等
②自主事業	自主事業は行っていない

4. 施設の稼働状況等

○年間延べ利用者数(4月～3月)					○年度末入所者数(21年3月末)						
延利用者数	特養	ショート	合計	稼働率	要介護度	1	2	3	4	5	合計
19年度	21,300	2,641	23,941	97.6%	男性	1	5	1	5	5	17
20年度	21,988	2,232	24,220	99.0%	女性	1	0	11	16	19	47

5. 予算決算の推移 (単位:円)

		17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
予 算	委託料	82,626,000	86,496,000	69,037,000	56,262,000	60,621,000
	料金収入等	267,343,000	258,115,000	265,995,000	270,905,000	280,171,000
	管理経費	349,969,000	344,611,000	335,032,000	327,167,000	340,792,000
決 算	委託料	48,199,457	59,859,548	40,097,356	56,262,000	
	料金収入等	298,113,931	291,522,280	306,855,123	285,402,387	
	管理経費	321,180,760	319,607,460	329,208,829	327,565,690	
	収 支	25,132,628	31,774,368	17,743,650	14,098,697	

6. 指標

指標名称	単位	目標値 (22年度)	19年度	20年度	21年度
入所定員(ショートステイ含む)	人	67	67	67	67
利用率(特養+ショート)	%	99.0	97.6	99.0	

7. 評価項目		
3：協定等の水準を上回っている。 2：おおむね協定等の水準どおりである。 1：協定等の水準を下回っている。 —：評価対象外項目		
評価の観点	評価	項目
①事業の運営 平均 [2.2]	(1) 施設の目的達成 [2] (2) サービス水準 [2] (3) 職員配置 [2] (4) 職員研修 [2] (5) 案内・接遇 [3]	(6) 開館時間等の遵守 [2] (7) 自主事業の成果 [—] (8) 個人情報保護 [3] (9) 緊急時対応マニュアル [2] (10) 警備・防犯体制 [2]
②施設の維持管理 平均 [2.0]	(1) 建物保守・設備機器点検 [2] (2) 備品の管理 [2] (3) 清掃・衛生管理 [2] (4) 施設の修繕 [2]	(5) 危険箇所等の確認 [2] (6) 管理記録の作成・保存 [2] (7) 業務委託の事前承認 [2] (8) 省エネ・省資源・環境配慮 [2]
③利用者の満足度 平均 [2.4]	(1) 利用者・第三者機関の評価 [3] (2) 苦情・要望への対応と報告 [2] (3) 利用者数の目標達成 [3]	(4) 利用しやすい環境整備 [2] (5) 関係団体・地域との関わり [2]
④歳入歳出 平均 [2.0]	(1) 適正な予算執行 [2] (2) 経費縮減のための取組み [2]	(3) 収支計画の達成 [2] (4) 利用料等の徴収・管理 [2]
8. 評価		
A+ (良好)：協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。 A (妥当)：協定等の水準を満たす管理が行われている。 A- (課題あり)：協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。 B (要改善)：協定等の水準を満たしておらず、改善が必要である。		
評価の観点	評価	説明
①事業の運営	A+	全体的に適切な事業運営がなされている。空床を利用したショートステイを行い、高い利用率を維持している。
②施設の維持管理	A	清掃等、建物設備維持管理は適切に業者に委託しており、委託内容の確認も確実にしている。また、軽微な修繕についても積極的に施設で対応している。
③利用者の満足度	A+	利用者の満足度調査の結果より、施設職員の接遇やサービス内容に対する満足度は高い評価を得ている。利用率も上昇を続けており、良好なサービスが提供されていることが伺える。
④歳入歳出	A	利用率は上昇したものの、料金収入が減額している。しかし、管理経費は縮減されているので、引き続き縮減に努め、収入確保に取り組んでいく必要がある。
⑤総合評価	A+	昨年より継続して良好な事業運営と施設管理が行われている。
9. 課題への対応等		
適切に事業運営がなされており、利用者の満足度調査においても利用者本位のサービスの提供がなされている。施設については、15年と老朽化が進んでいることから計画的に、設備保守・保全や備品の購入を行っていく。		